

北小 算数の取組

1. 算数の授業の流れ 思考力を育てる授業の際は、この流れで取り組んでください。

①問題

【わかっていること・たずねていること・単位の確認、既習事項と違う点の発見をする。】

②課題設定【既習事項との違いから、子どもたちと一緒に課題を見つける。】

③見通し【大体の数値の見通し、どの計算を使うかの見通し、どの計算かを考えるためにどんな図・表などを使うかの見通しがあり、何を扱うかはその内容によって決める。】

④自力解決【「北小わかるステップ1・2・3」に沿って支援する。】★ステップを記入

⑤発表、練り上げ【始めに答えを確認し、その後、どんな求め方をしたかを確認する。この式は何を求めたのかなど、丁寧に児童とやり取りをして、全員が理解できるようにする。出された考えの中から、共通点を見つけたり、差異を見つけたりして、まとめにつなげていく。】

⑥まとめ【児童と練り上げながら今日の一番大事なことは何かをまとめる。】

⑦適用問題【できたらどんどん〇をつけ、他の問題(応用問題など)にも取り組ませていく。】

⑧振り返り【振り返りの記述例を参考に、今日の1時間を自分の言葉で振り返らせる。】

★ステップを記入

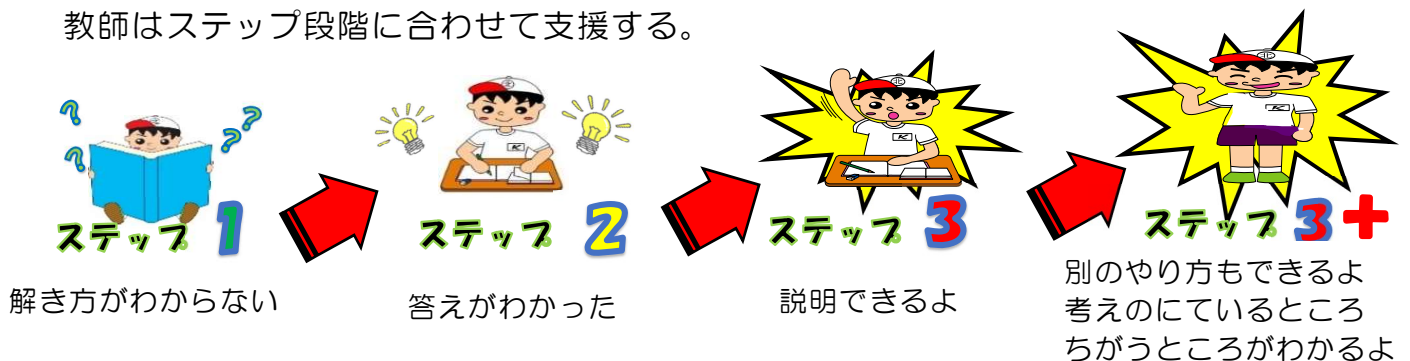
★1時間で①～⑧までを必ず行います。

そのために①～③までは極力短時間で取り組んでください。

2. 北小わかるステップ1・2・3・3+について

自力解決時、振り返り時に、児童に自己評価させる。

教師はステップ段階に合わせて支援する。



★指導案に、わかるステップ段階ごとの判断状況と指導支援方法を載せます。

【例 3年小数のたし算より】

	△ (わかるステップ 1)	○ (わかるステップ 2)	◎ (わかるステップ 3)	☆ (わかるステップ 3+)
判断状況	単位小数の何個分ととらえることができず、答えを求めることができない。	単位小数の何個分ととらえ、答えを求めることができる。	単位小数の何個分ととらえて答えを求め、基礎・基本を活用して解き方を自分の言葉で説明することができる。	出された意見の共通点を見つけ、式と図、数直線を単位小数の何個分と関連付けて説明できる。他の考え方を見つけて説明できる。
指導支援	ますの図をもとに、単位小数の何個分を視覚的にとらえられるようにする。	ますの図や数直線をかき、単位小数の何個分になるかを使って考えられるよう助言する。	出された式と図、数直線の共通点に気づけるよう助言する。別の解き方を考えて解くよう助言する。	

3. ノートの使い方

月 日								
P15								
問								
1	式							
見								
課								
自								
1								
↓								
2								
友								
わ								
ま								
P16	練	習	問	題				
2	①				②			
ふ								
↓								
3								

- 1マス分定規で線を引く。
- 日づけを書く（ページを書く。）
- 教科書を使う場合問題の番号を書く。
- 問題文は、自分で書く紙を貼る
教師が読み、児童がメモを取る
- 問題文は鉛筆で囲む。

線を引く場合

(_____ 分かっていること
 (_____ 聞いていること
 (○で囲む 単位)

- 式を立てる。
- 答えの見つもりを立てる。
- 既習との違いを確認し、見通しをもつ。
- 課題を書き、青鉛筆で囲む。
- 既習を生かし自分の力で解く。
- 図、式、数直線、言葉を使って答えを求める。
言葉で説明する。
- 問題に対する答えを必ず書く。
こたえ _____ (低学年)
答え _____ (中・高学年)
- 友だちの発表を聞く。
- 自分の考えは消さない。友だちの考えで良いものを写す。
- 同じところ違うところを確認する。
答えを導き出す際欠かせないキーワードを探す。
- 児童の言葉を拾いながら教師がまとめを書き、記入させる。赤線で囲む。
- 練習問題に取り組む。
- 今日の振り返りを書かせる。

問(も)・・・問題、見(み)・・・見積もり 課(か)・・・課題、自(じ)・・・自分の考え
 わかるステップ1・2・3のレベルを書く。変わったときは↓で変更。
 友(と)・・・友達の考え ま・・・まとめ ふ・・・振り返り
 *課、自、ふは必ず掲示し、児童にも書かせる。
 *自とふの時に「北小わかるステップ」の段階を書かせる。

ふり返りの記述【例】(5年生「多角形の学習」より)

今日、自分がしたこと

わたしは、五角形に対角線を1本引いて三角形と四角形を分けて考えましたが、

友だちの考えを聞いて、どんな多角形でも三角形に分ければ内角の和を使えることがわかりました。

今日は内角の和の決まりを発見できてうれしかったです。

今日の感想

比べて思ったこと